

Annual Report 2020

2020年度 事業報告書



公益財団法人

川野小児医学奨学財団

ごあいさつ

2020年の冬から続く新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の中、私たちの健康を守ろうと献身的な努力をしておられる医学・医療従事者の皆様に、心からの感謝と敬意を表します。私どもの財団ができることは決して大きくありませんが、この厳しい状況が始まったときから、医学・医療を支える財団の一つとして何かできることはないか、考え続けて参りました。2020年度はその想いをいくつかの活動として実現できた年となりました。その一つとして、アルバイトの休止による生活苦から医学生を救うために奨学金の増額を行い、また、小児における新型コロナウイルス感染症の研究助成のために新たに1,000万円の予算を確保しました。本書では、昨年度のそういった活動報告を掲載させていただいておりますので、ご一読くださいますと幸いです。

さて、新型コロナウイルス感染症がもたらした急激な環境変化は、私たちの健康に今後も影響を与えるものと思われま。特に、若年層の自殺者や児童虐待の増加からも明らか

なように、心の健康を保つことは大きな課題となっています。そこで、ウィズコロナ、アフターコロナの時期において、子どもたちの心身の健康を守り育てるためには、今まで以上にきめ細やかなケアが必要とされます。当財団としましては、子どもたちの命や健康のために日々尽力しておられる方々を、これまで以上にご支援して参りたいと考えております。皆様の引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。



理事長

川野 幸夫

株式会社ヤオコー / 代表取締役会長

数字で振り返る 2020 年度の活動



目次

2020年度 事業報告

1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 緊急支援の実施	
小児における新型コロナウイルス感染症に関する研究助成	4
医学生に対する奨学金の増額	5
研究助成金交付者インタビュー	6
森岡 一朗先生 / 日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野 主任教授 「新型コロナウイルス感染拡大下でも安心して、安全なお産をしてほしい」	
奨学金給付者インタビュー	7
竹澤 梨花子さん / 秋田大学医学部医学科 6年 米澤 祐哉さん / 島根大学医学部医学科 5年	
2 研究助成	
交付者一覧	8
これまでの実績	10
3 奨学金給付	
給付者大学一覧	11
奨学生証書授与式	12
これまでの実績	13
4 小児医学川野賞	
受賞者一覧	14
これまでの受賞者	15
5 医学会助成	
助成先一覧	16
これまでの実績	17
6 小児医療施設支援	
助成先一覧	18
これまでの実績	19
7 ドクターによる 養護教諭のための出前セミナー	
実施一覧	20

2021年度 経過報告

1 研究助成	
交付者一覧	22
2 医学会助成	
助成先一覧	24
3 ドクターによる出前セミナー	
実施予定一覧	25
4 2021年度支援対象の拡大について	
奨学金給付の対象に「千葉県」を追加	26
ドクターによる出前セミナーの対象に 「就学前教育・保育施設の看護職」を追加	26
5 2021年度中の募集について	
募集概要	27
応援メッセージ	28
役員・評議員・選考委員一覧	29
ご寄附のお願い	30

2020年度 | 事業報告

Annual Report 2020

1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援の実施

新型コロナウイルスという未知のウイルスによる感染症が日本でも急激に広がり始めた2020年の春、「医学・医療に関わる財団として何かできることはないか」を考え続け、多くの方々へのヒアリングや検討を繰り返し行いました。結果、二つの特別な取り組みを実施することができました。この取り組みが、子どもたちの健やかな成長に少しでも役立っていることを願いながら、活動を続けています。

小児における新型コロナウイルス感染症に関する研究助成

子どもは重症化するリスクが低いと言われていますが、子ども特有の症状が出ることもあり、研究が必要とされています。また、長期間の休校や外出自粛など急激な生活の変化によって、心の問題も深刻になっています。そこで、通常実施をしている研究助成とは別に予算を確保し、2020年5月に子どもの新型コロナウイルス感染症に関する研究を支援することを決めました。急遽設けたこの研究助成に対し、全国から48件の応募をいただき、選考委員による8月25日付け書面決議の結果、9名の研究者に総額10,420千円の助成金を交付しました。

氏名	所属機関／「テーマ」	交付額(千円)
森岡 一朗	日本大学医学部小児科学系小児科学分野 「新型コロナウイルスの周産期感染の予防法と新生児管理法の確立：オールジャパンで取り組む母子と新生児医療従事者の安全・安心のための総合的研究」	1,820
山田 佳之	群馬県立小児医療センターアレルギー・感染免疫・呼吸器科 「小児に新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)感染に対する耐性をもたらす因子の検討」	1,600
佐藤 智	埼玉県立小児医療センター感染免疫・アレルギー科 「小児期発症新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の実態調査と診療体制の構築」	1,000
北野 尚美	公立大学法人和歌山県立医科大学地域・国際貢献推進本部地域医療支援センター、医学部公衆衛生講座 「SARS-CoV-2の流行下における川崎病の臨床疫学像を解明する疾患登録研究」	1,000
前川 大志	愛媛大学プロテオサイエンスセンター細胞増殖・腫瘍制御部門 「コムギ無細胞タンパク質合成系を利用した新型コロナウイルス感染抑制剤の開発」	1,000
橋口 隆生	九州大学大学院医学研究院ウイルス学 「構造情報を活用した安定性および収量の高い新型コロナウイルス免疫抗原の作製と解析」	1,000
赤松 智久	国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院新生児内科 「COVID-19母子感染経路の同定および新生児 COVID-19の追跡調査」	1,000
服部 文幸	関西医科大学大学院医学研究科医科学専攻イノベーション再生医学 「ヒトiPS細胞を用いた小児 SARS-CoV-2感染モデルの構築および新規自然免疫補助療法の開発」	1,000
津下 充	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児急性疾患学講座 「COVID-19などパンデミック感染流行時に即時対応・転用可能な総合型医療保健体制を構築することを目指した研究」	1,000
合計		10,420

※敬称略・所属機関は交付内定時の機関

医学生に対する奨学金の増額

緊急事態宣言の発出後、アルバイト先の休業などで収入が減り、経済的に困窮している学生が増えているという報道をよく目にしました。当財団では2020年4月に奨学生にコロナ禍で困っていることについてアンケート調査を実施し、結果、約8割の奨学生がアルバイトの収入が減ったり、なくなったりすることが分かりました。そこで、2020年5～7月の3か月間、給付額を月額6万円から10万円に増額し支給しました。奨学生からは「安心して勉強に励むことができました」など感謝のメッセージが多く届いています。

コロナ禍で困っていることについてのアンケート結果

回答選択肢	割合
アルバイト収入がなくなった、もしくは減った	82% (減少額：平均 46,000 円)
親の収入が激減し仕送りがなくなった、もしくは減った	29% (減少額：平均 41,000 円)
教科書が買えない	35%
食費が足りない	24%
光熱費が払えない	6%
家賃が払えない	0%
マスクが手に入らない	76%
Wi-Fi 接続やデバイスが原因で授業がスムーズに受けられない	24%
精神的に不安がある	29%
体調が悪い	0%
その他 (自由記述)	
・進級にも関わる共用試験の実施が中止または延期になる可能性があること	
・今後の実習や卒業試験、国家試験への影響が不透明なところ	

※回答期間：2020年4月17日～21日

※回答人数：継続給付者18名

研究助成金交付者インタビュー

新型コロナウイルス感染拡大下でも安心して、安全なお産をしてほしい



森岡 一朗先生

Ichiro Morioka

日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野
主任教授

1. 研究テーマを教えてください。

「新型コロナウイルスの周産期感染の予防法と新生児管理法の確立 -オールジャパンで取り組む母子と新生児医療従事者の安全・安心のための総合的研究-」です。

2. 先生は新型コロナウイルスに感染した妊婦さんが安全に出産し、医療従事者も感染から守るためのガイドライン作りをされているとお聞きしました。取り組もうと思った理由を教えてください。

新型コロナウイルスの感染拡大以降、医療現場では様々な試行錯誤を重ねてきました。その結果、成人に対しては「このように対応すべき」という一定の指標ができています。一方で、感染した妊婦さんから生まれた新生児に対しては、どうすれば感染の有無をはっきり確認できるのか、院内でどのように管理するのか、どうしたら安全ということが出来るのか、明確な指針がありません。また、新生児医療に従事する医療者の感染防止策に関する共通のルールもありません。

ですからどうすれば感染を防ぎつつ安全に出産できるのか、生まれた後はどのような状態になれば退院できるのか

など、手探りで対応しているのです。こういった不安を解消し、みんなが安心して出産に臨めるよう、ガイドラインを作ろうと決めました。

3. ガイドライン作りのため、具体的にはどのようなことをしているのですか？

まず新型コロナウイルスに感染した妊婦さんから生まれた新生児に関する検査データ、治療内容に関する情報を日本全国から収集し、実態を明らかにします。この研究によって新型コロナウイルスがどのように母子感染しやすいのかを明らかにし、検査・治療のポイントを明確にします。そして、今後の感染拡大に備えた新生児診療指針の作成にいかしていきます。

次に、新生児医療従事者の感染予防対策の現状について調査を実施します。全国約 2500 の小児科の医療施設（病院）へアンケートを行い、NICU（新生児集中治療室）や新生児室内での感染対策や防護具の使用法、沐浴や授乳の実施方法について調べます。この調査によって、今の日本の新生児医療の現場に広く受け入れられる適切な感染予防法を確立したいと考えています。

このような大規模な調査研究は、単独ではできません。新生児医療に携わる日本全国の人たちの協力が必要です。今回は、厚生労働省や日本新生児成育医学会、日本小児科学会、日本産科婦人科学会などの関連学会、多くの病院に参加してもらい、まさにオールジャパンで取り組んでいます。

※このインタビューは 2020 年 9 月 24 日に行いました

奨学金給付者インタビュー



竹澤 梨花子さん

Rikako Takezawa

秋田大学医学部医学科 6 年

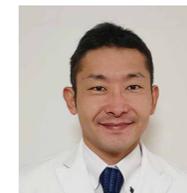
1. 新型コロナは、皆さんの大学生活にどのような影響を与えましたか

いよいよ最終学年となったばかりのタイミングで、予定されていた実習は全て中止となり、先行きの見えない中で国家試験に向けての勉強を始めました。一人暮らしの私の場合、本来一緒に切磋琢磨し合えたはずの友人はもちろん、家族にすら会えない状況のもと一人悶々と机に向かう日々はなかなか孤独なものでした。一方で、この未曾有の事態に学生として何もできなかった自分に不甲斐無さを感じつつも、早く社会に出て医療従事者として貢献したい、と改めて思わされた一年でもありました。

2. 当財団からの奨学金増額はどのようにお役に立ちましたか

弊学ではアルバイトが一時禁止された為、私のような一人暮らしの学生には経済的に厳しい局面がありました。奨学金を増額いただけたことで生活に余裕を取り戻すことができ、より勉学に集中できるようになりました。また貴財団からマスクをお送りいただきました。当時どこへ行ってもマスクが手に入らない状況でしたので、大変ありがたく心温かい気持ちになったことを覚えています。

貴財団からこれまで頂戴した一連のご厚情のお陰で学業を全うすることができました。この場をお借りして深甚の謝意を申し上げます。



米澤 祐哉さん

Yuya Yonezawa

鳥根大学医学部医学科 5 年

1. 新型コロナは、皆さんの大学生活にどのような影響を与えましたか

新型コロナの影響により臨床実習が一時中断し、合計 1 か月間の自宅待機と 3 か月間のオンラインでの臨床実習となりました。病院での実習が再開しても診察や手術見学に制限がかかったため、臨床実習では本来積めたはずの経験を積むことができませんでした。さらに、課外活動も中止となり、学生同士の飲食を伴う会合も制限されたため、同期や先輩・後輩と交流する機会も激減してしまいました。一方で、新たにできた時間は、国家試験対策の勉強に費やしました。

2. 当財団からの奨学金増額はどのようにお役に立ちましたか

それまでやっていたアルバイトもできなくなったので、財団からの奨学金増額はまず生活をしていく上でとても役に立ちました。その上でオンライン実習による経験不足を補うために、画像診断のオンライン講座を受講したり、縫合練習セットを購入したりして自宅で結紮・縫合の練習を行いました。奨学金を増額していただいたおかげで、自宅での勉強を充実させることができました。

※所属大学および学年は 2021 年 3 月 31 日時点のもの

研究助成

交付者一覧

2020年度は一般枠101名・若手枠71名の応募があり、選考委員による4月1日付け書面決議の結果、一般枠20名・若手枠28名の計48名の研究者に総額60,050千円の助成金を交付しました。なお、2021年3月に予定しておりました助成研究成果発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、9月に延期予定となっております。

[一般枠20名]

氏名	所属機関／「テーマ」	交付額(千円)
坂野 公彦	奈良県立医科大学生理学第二講座 「ダウン症候群由来iPS細胞を用いた胎児肝研究—造血幹細胞の誘導と肝線維症の病態解明—」	1,500
山下 聡	国立研究開発法人国立がん研究センター研究所エビゲノム解析分野 「小児腫瘍治療により蓄積した微量変異と二次がんの関連」	3,000
内田 広夫	名古屋大学大学院医学系研究科小児外科学 「構造タンパク質を用いた組織再生促進効果を伴う生体吸収性組織補強材の開発」	3,000
大嶋 宏一	埼玉県立小児医療センター血液腫瘍科 「前癌病変の解析による肝芽腫の発症機序解明と新規治療薬の開発」	2,400
本橋 裕子	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院小児神経診療部 「筋ジストロフィー患者の病態変化を反映するバイオマーカーの開発研究」	2,400
澤田 博文	三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座・小児科学・麻酔集中治療学 「肺動脈性肺高血圧の学校心電図検診による早期診断法の改善に向けた多施設共同研究 心電図所見と診断前の経時変化の検討」	1,840
戸子台 和哲	東北大学病院総合外科 「先天性代謝異常症の根治を目的とした羊膜細胞による新規細胞移植療法の実証」	2,400
田村 大輔	自治医科大学小児科 「抗インフルエンザ薬耐性ウイルスの出現因子とそのウイルス特性に関する研究」	2,360
三好 剛一	研究開発法人国立成育医療研究センター臨床研究センター企画運営部 「胎児頻脈性不整脈における出生後予後予測モデルの開発」	2,400
水野 健太郎	名古屋大学大学院医学研究科小児泌尿器科学分野 「乳幼児期の精巣発育における内分泌環境の生理学的意義の解明—精子幹細胞の分化メカニズム解明を目指して—」	2,400

氏名	所属機関／「テーマ」	交付額(千円)
石谷 太	国立大学法人大阪大学微生物病研究所生体統御分野 「小型魚類イメージングを活用したモザイク疾患の発症メカニズムの解明」	2,400
保科 隆之	産業医科大学小児科 「次世代シーケンサーを用いた腸内細菌の網羅的解析結果に基づいた川崎病発症および治療反応性の違いに対する微生物学的要因の検討」	2,400
石井 敦士	福岡大学医学部・小児科学教室 「チック症とトゥレット症候群の分子病態を遺伝学的アプローチで解明する」	2,400
川上 浩司	国立大学法人京都大学大学院医学研究科 「乳幼児期の口腔衛生状態が学童期の齲歯発生に及ぼす影響の解明—乳幼児健診と学校健診情報による大規模疫学研究」	1,400
小林 剛	国立大学法人大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫分野 「ロタウイルス遺伝子操作系による新規ワクチン開発戦略」	1,050
孫 継英	広島大学原爆放射線医学研究所・細胞修復制御研究分野 「乳児及び治療関連性白血病に関与する11q23染色体転座形成の分子機構の解明」	1,350
鈴木 啓介	東京大学大学院医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻小児外科学 「小児外科疾患への応用を目指した生体内組織形成術(in body tissue engineering,iBTA)における臓器自律再生メカニズムの解析研究」	1,000
浦山 ケビン	学校法人聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科 「小児白血病発症に関わる環境・遺伝要因の解明—史上最大規模の国際共同研究で挑む—」	1,500
藤岡 一路	神戸大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター 「新生児敗血症に対するTrained immunity誘導に基づく新規治療法の開発」	1,500
小谷 恭弘	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科心臓血管外科学 「大血管転位症の責任遺伝子の同定と発症機序の解明」	1,450
小計		40,150

※敬称略・所属機関は交付内定時の機関

[若手枠28名]

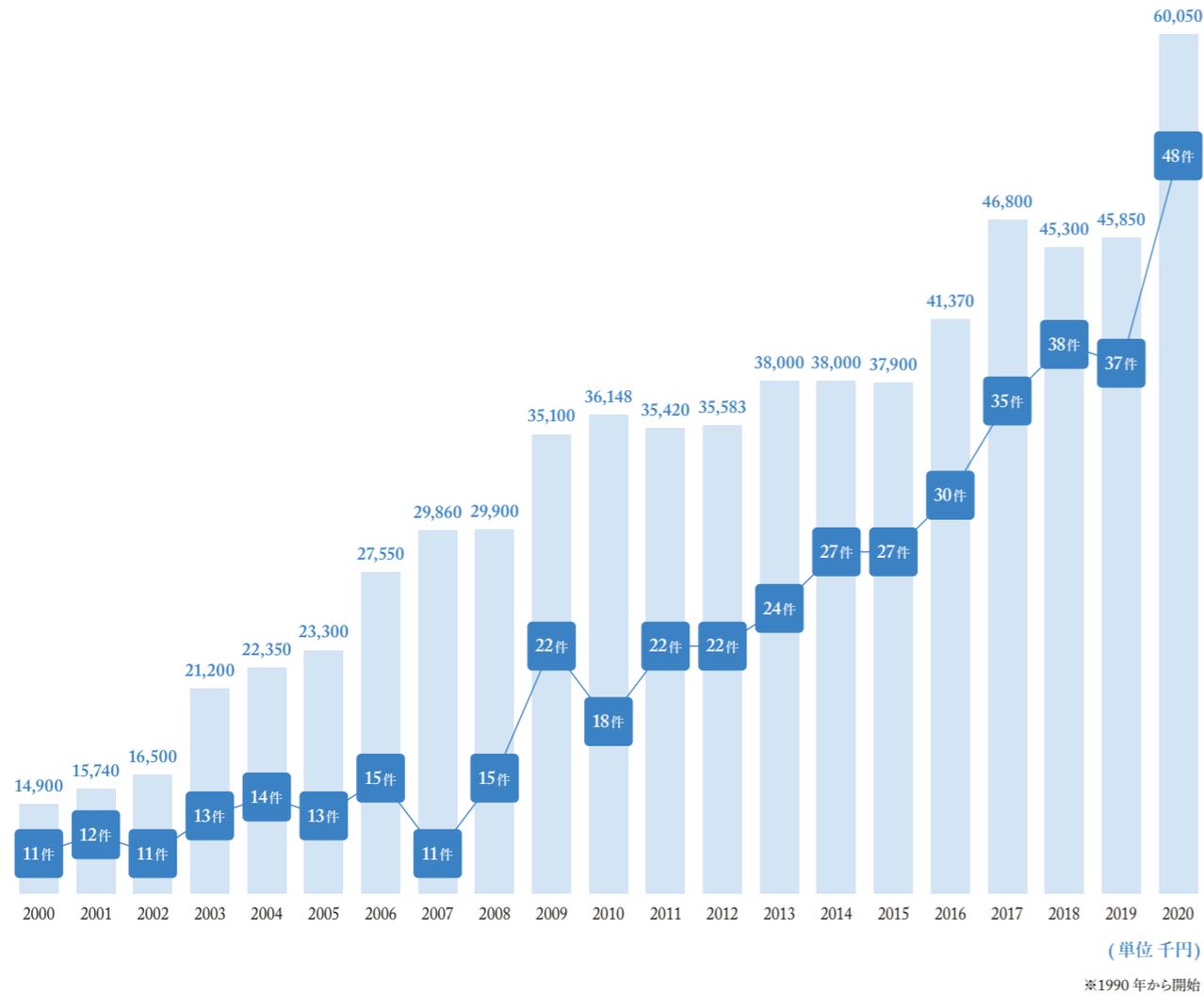
氏名	所属機関／「テーマ」	交付額(千円)
中村 勇治	名古屋大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野 「極度の進行性神経変性を示すPNPLA8変異における、脳オルガノイドを用いた新規分子病態の解明」	1,000
川原 勇太	学校法人自治医科大学小児科学 「難治性小児急性リンパ性白血病患者に対するがん免疫療法における腸内環境解析を用いた新規バイオマーカー探索」	1,000
塩澤 裕介	日本医科大学研究部共同研究施設分子解析研究室 「任意の標的臓器に対して特異的な遺伝子導入を可能にする新規遺伝子治療法の開発」	1,000
岡崎 敦子	順天堂大学難病の診断と治療研究センター 「非侵襲的検体を用いた小児ミトコンドリア病の新規診断法の確立」	1,000
高野 智圭	日本大学医学部病態病理学系微生物学分野 「先天代謝異常症に対する羊膜上皮細胞治療の開発」	1,000
堀場 千尋	名古屋大学環境医学研究所発生遺伝分野 「出生時マイクロバイオーム解析による新生児敗血症の予測因子・病態解明」	1,000
佐藤 俊平	埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所 「神経芽腫におけるPRC1の遺伝子発現制御機構の解明」	1,000
小田切 崇	岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野 「年齢制限なく小児に適用できる安全かつ有効なアジュバントを用いた新規インフルエンザワクチンの開発」	800
原 朱美	埼玉医科大学医学部生理学教室 「新規遺伝子導入法を用いたβ細胞の分化転換制御機構の解明と新たな糖尿病治療法の開発」	800
末永 雄介	千葉県がんセンター研究所がん制御研究部 「MYCN/NCYMの転写制御を標的とした神経芽腫治療法の開発」	800
清水 峻志	東京大学医学部附属病院循環器内科 「先天性心臓弁形成不全症における小胞体ストレス応答の役割の解明」	800
小野田 淳人	名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター 「胎児発育不全に伴い、成育後に生じる脳発達障害の早期診断技術の開発」	800
中金 悠	大阪市立大学大学院医学研究科 「マラリア性貧血の病態を規定する宿主・病原体・社会的要因の統合解析」	800
高岡 勝吉	国立大学法人九州大学大学院医学研究科発生再生医学分野 「糖尿病妊娠のオーダーメイド先制医療を目的としたマウス胎児における大規模リバースジェネティクス解析」	800

氏名	所属機関／「テーマ」	交付額(千円)
矢野 圭輔	鹿児島大学病院救急部 「腸管不全関連肝障害の克服へ向けたGLP-2の治療効果の実験的研究」	800
久保田 淳	厚木市立病院小児科 「乳児RSウイルス感染症の急性期における重症度指標の確立」	500
柿原 知	東京大学医学部医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻小児外科 「プロテオーム解析とメタゲノム解析を用いた稀少小児外科疾患や未熟児腸内環境の病態解明」	500
西山 将広	神戸大学医学部附属病院親と子の心療部 「臨床データベースと患者検体を活用した経時的かつ包括的解析による急性脳症のバイオマーカーの開発」	500
川畑 伊知郎	国立大学法人東北大学大学院薬学研究科・薬理学分野 「小児性ジストニアの分子遺伝学的解析と新規創薬標的の探索」	500
高村 将司	埼玉医科大学病院産婦人科 「慢性子宮内膜炎治療による妊娠合併症発症抑制を目指した萌芽的研究」	500
井上 建	獨協医科大学埼玉医療センター小児科・子どものこころ診療センター 「不登校を併存した概日リズム睡眠・覚醒障害に対する加療プログラムの構築」	500
田原 麻由	東京慈恵会医科大学小児科 「マンガン造影磁気共鳴画像法を用いた脳活動の定量計測法の開発」	500
坂田 真史	国立感染症研究所ウイルス第三部第二室 「風疹ウイルスゲノム複製機構の解明—ウイルスタンパク質と宿主因子のインタラクトームの可視化からゲノム複製機構を理解する—」	500
井上 隆志	国立成育医療研究センター研究所免疫アレルギー・感染研究部 「冠動脈血管内皮細胞におけるIVIG抵抗性シグナルバスキュエルの解明から川崎病病態形成機序を考察する」	500
村岡 正裕	独立行政法人国立病院機構医王病院小児科 「転写因子のアセチル化による顆粒球分化制御メカニズムの解明」	500
前川 大志	愛媛大学プロテオサイエンスセンター細胞増殖・腫瘍制御部門 「コムギ無細胞タンパク質合成系を利用した髄芽腫由来KBTBD4変異体の特性解析」	500
菊地 一史	九州大学病院放射線科 「小児脳腫瘍のより高度な画像診断法の確立」	500
内田 琢	国立大学法人宮崎大学医学部機能制御学講座統合生理学分野 「自閉スペクトラム症に関与するGluA1遺伝子変異がシナプスの発達・機能に与える影響」	500
小計		19,900

※敬称略・所属機関は交付内定時の機関

3 奨学金給付

これまでの実績



給付者大学一覧

2020年度は18名の応募があり、選考委員による審査の結果、新規6名の医学生に対する給付を決定しました。継続18名と合わせて計24名の医学生に対して、総額19,440千円の奨学金を給付しました。

[新規給付6名]

大学名	人数	年間給付額(千円)
慶應義塾大学	2	1,440
東京女子医科大学	1	720
東北医科薬科大学	1	720
東北大学	1	720
獨協医科大学	1	720
小計		4,320

[継続給付18名]

大学名	人数	年間給付額(千円)
秋田大学	2	1,680
岡山大学	1	840
慶應義塾大学	2	1,680
島根大学	3	2,520
千葉大学	1	840
東京医科歯科大学	1	840
東北医科薬科大学	1	840
東北大学	2	1,680
獨協医科大学	1	840
名古屋大学	1	840
福島県立医科大学	3	2,520
小計		15,120

※五十音順

奨学生証書授与式

奨学金給付事業が経済的な支援にとどまらず、奨学生の勉強や研究、卒業後のキャリア設計に役立つよう、2018年度より奨学生証書授与式を開催しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、9月5日にオンラインにて実施いたしました。

当日の様子

2020年度から新たに奨学生となった6名に加え、既存の奨学生3名にもご参加いただきオンラインでの授与式がスタートしました。理事長から奨学生一人ひとりに、証書として贈られる楯を手渡して授与することは叶いませんでしたが、当財団の設立背景や歩みに加え、人々から「おかげさまで」と感謝されるような心の豊かな医師になってほしいという熱いメッセージが贈られました。一方、奨学生からも理事長に対して、仕事からプライベートに及ぶ様々な質問があり、オンラインならではの密なコミュニケーションが図られました。

第二部として、学生生活における疑問や不安の解消に役立てばという想いから、奨学生同士の座談会を行いました。先輩奨学生から後輩奨学生へ、勉強や試験対策についてアドバイスがあるなど充実した時間となったようです。

コロナ禍で交流を図ることが難しい時期において、今回の奨学生証書授与式は特に意義深いものとなったと感じています。

奨学生の声

河西 歩さん Ayumi Kasai
獨協医科大学医学部医学科2年

奨学生証書授与式では川野理事長より貴重なお話を伺い、奨学生としての自覚をもって邁進していこうと決意を固めました。座談会では、参加者全員を拜見できるというオンラインならではの交流ができ、志を同じくする先輩方や同期との情報交換により有意義な時間となりました。直接お会いし交流できる日を待ち遠しく思います。

八重幡 萌加さん Moeka Yaehata
東京女子医科大学医学部医学科1年

初めての奨学生証書授与式はZoomでの開催でしたが、大変豊かな雰囲気の中、理事長や財団の方のお話を伺い、良き医師を目指すため、これからも身を引き締めて精進していこうと改めて感じました。座談会では、他大学の学生や先輩方と親睦を深めることができました。現在の状況下において、大変貴重な交流の場となりました。

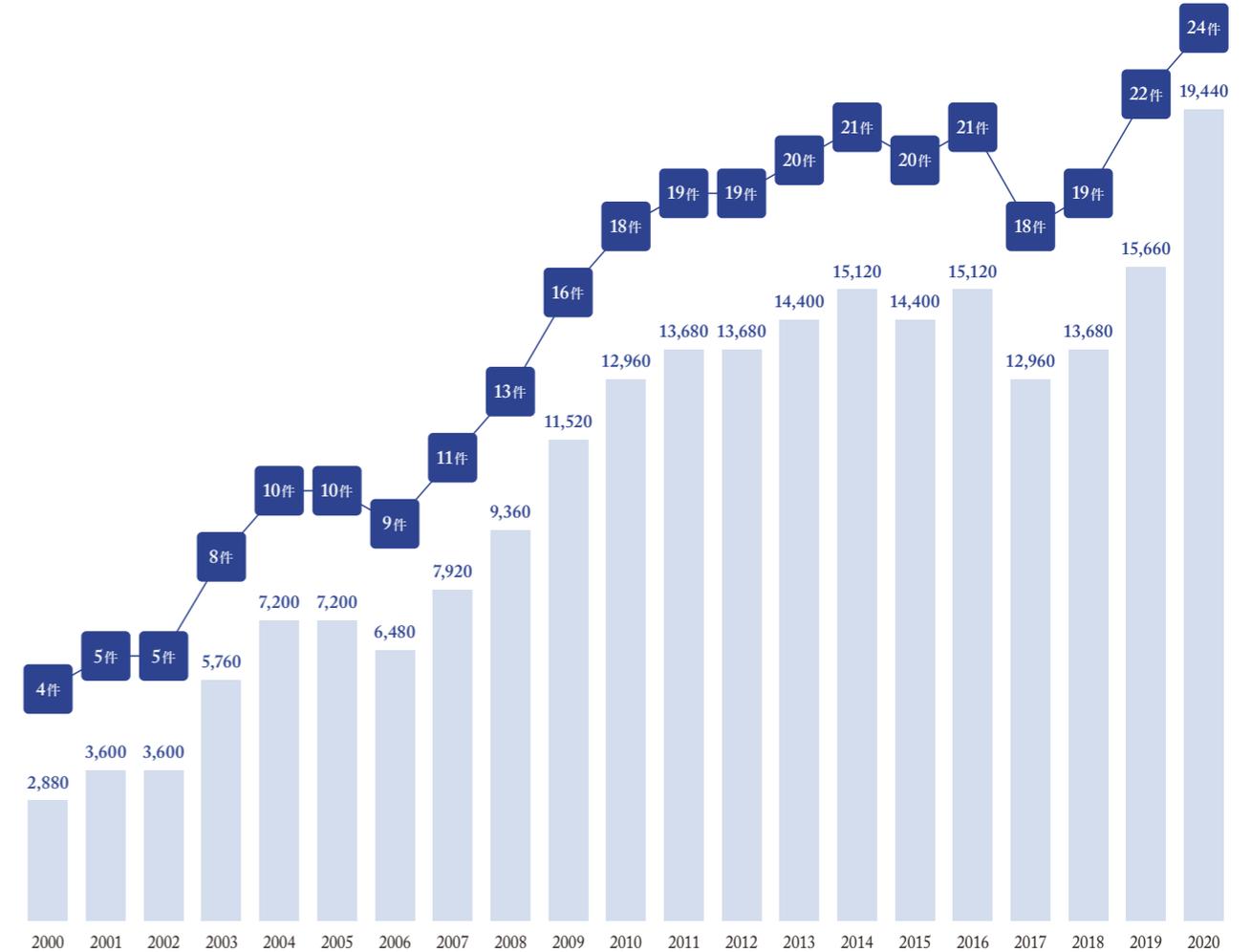
奥山 航汰さん Kouta Okuyama
慶應義塾大学医学部医学科1年

証書授与式はオンラインでの開催でした。財団の方々と直接お会いすることは叶いませんでしたが、理事長や先輩方のお話を聞くことができ、大変勉強になりました。特に財団の設立された経緯をお聞きして、これまでよりも奨学生として相応しい行動を目指そうと気が引き締まりました。いつか直接お会いできればと思っています。

2020年度奨学生証書授与式(オンライン)の様子



これまでの実績



(単位 千円)

※1990年から貸与型を開始、2010年から給付型を開始し、2015年からは給付型のみ

4 小児医学川野賞

受賞者一覧

当財団設立30周年を迎えた2019年度より、募集分野を基礎医学・臨床医学・社会医学の3分野に拡大し、推薦を受け付けています。2020年度は基礎医学7名・臨床医学10名・社会医学1名の応募があり、2020年12月5日に開催した選考委員会の結果、以下の3名の方々に小児医学川野賞を贈呈することを決定しました。なお、2021年3月に予定しておりました贈呈式は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、9月に延期予定となっております。

分野	お名前	所属機関	研究テーマ
基礎医学分野	安友 康二	徳島大学大学院医歯薬学研究所 (医学域)	免疫難病の克服に向けた免疫調節の維持・破綻機構に関する研究
臨床医学分野	齋藤 昭彦	新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児科学分野	新生児・早期乳児のパレコウイルス A3 感染症の病態生理の解明
臨床医学分野	笠原 群生	国立研究開発法人国立成育医療 研究センター臓器移植センター	小児臓器移植(肝、腎、小腸)およびES細胞を用いた肝細胞移植医療の臨床応用

※敬称略・所属機関は受賞時の機関

※臨床医学分野において受賞に該当する候補者が2名いらっしゃったため、同分野で2名の方へ贈呈いたします。また、社会医学分野は該当者なしとなりました

これまでの受賞者

回/年度	氏名/所属機関		
第1回/2000年度	奥山 眞紀子/埼玉県立小児医療センター		
回/年度	小児基礎医学	小児臨床・社会医学	
第2回/2001年度	林 泰秀/東京大学医学部小児科 長谷川 奉延/慶應義塾大学医学部小児科	平岡 政弘/福井医科大学小児科	
第3回/2002年度	廣瀬 伸一/福岡大学医学部小児科	大井 静雄/東京慈恵会医科大学脳神経外科講座	
第4回/2003年度	緒方 勤/国立成育医療センター研究所	吉川 徳茂/和歌山県立医科大学小児科	
第5回/2004年度	斎藤 博久/国立成育医療センター研究所	加治 正行/静岡県立こども病院	
第6回/2005年度	伏木 信次/京都府立医科大学大学院医学研究科		
第7回/2006年度	大橋 十也/東京慈恵会医科大学 DNA 医学研究所	夏目 長門/愛知学院大学歯学部口唇口蓋裂センター	
第8回/2007年度	峯岸 克行/東京医科歯科大学大学院免疫アレルギー学 塚原 宏一/福井大学医学部付属病院小児科	山高 篤行/順天堂大学医学部小児外科	
第9回/2008年度	金子 英雄/岐阜大学大学院医学系研究科医学部地域医療医学センター	小崎 健次郎/慶應義塾大学医学部小児科学教室	
第10回/2009年度	深尾 敏幸/岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学	高橋 幸利/国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター	
第11回/2010年度	先崎 秀明/埼玉医科大学国際医療センター	海老澤 元宏/国立病院機構相模原病院臨床研究センター	
第12回/2011年度	下澤 伸行/岐阜大学生命科学総合研究支援センター	川崎 幸彦/福島県立医科大学小児科	
第13回/2012年度	福田 誠司/島根大学医学部小児科学	加藤 光広/山形大学医学部付属病院小児科	
第14回/2013年度	滝田 順子/東京大学大学院医学研究科生殖・発達・加齢医学小児科	浜野 晋一郎/埼玉県立小児医療センター	
第15回/2014年度	滝沢 琢己/群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野	高橋 謙造/帝京大学大学院公衆衛生学研究所	
第16回/2015年度	田島 敏広/自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科	家入 里志/鹿児島大学学術研究院医歯学域医学系小児外科学分野	
第17回/2016年度	北中 幸子/東京大学大学院医学系研究科小児医学講座	野津 寛大/神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野	
第18回/2017年度	竹田 誠/国立感染症研究所ウイルス第三部 深見 真紀/研究開発法人国立成育医療研究センター分子内分泌研究部	森岡 一朗/神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野 こども急性疾患学部門	
第19回/2018年度	道上 敏美/地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター研究所環境影響部門	酒井 康成/九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野(小児科学)	
回/年度	小児基礎医学	小児臨床医学	小児社会医学
第20回/2019年度	川井 正信/大阪母子医療センター研究所 骨発育疾患研究部門消化器・内分泌科	武内 俊樹/慶應義塾大学医学部小児科	頼藤 貴志/岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻疫学・衛生学分野

※敬称略・所属機関は受賞時の機関

2020年度小児医学川野賞選考委員会の様子



5 医学会助成

助成先一覧

2020年度は13件の応募があり、選考委員による審査の結果、10件の医学会に対して総額4,650千円の助成金を交付しました。

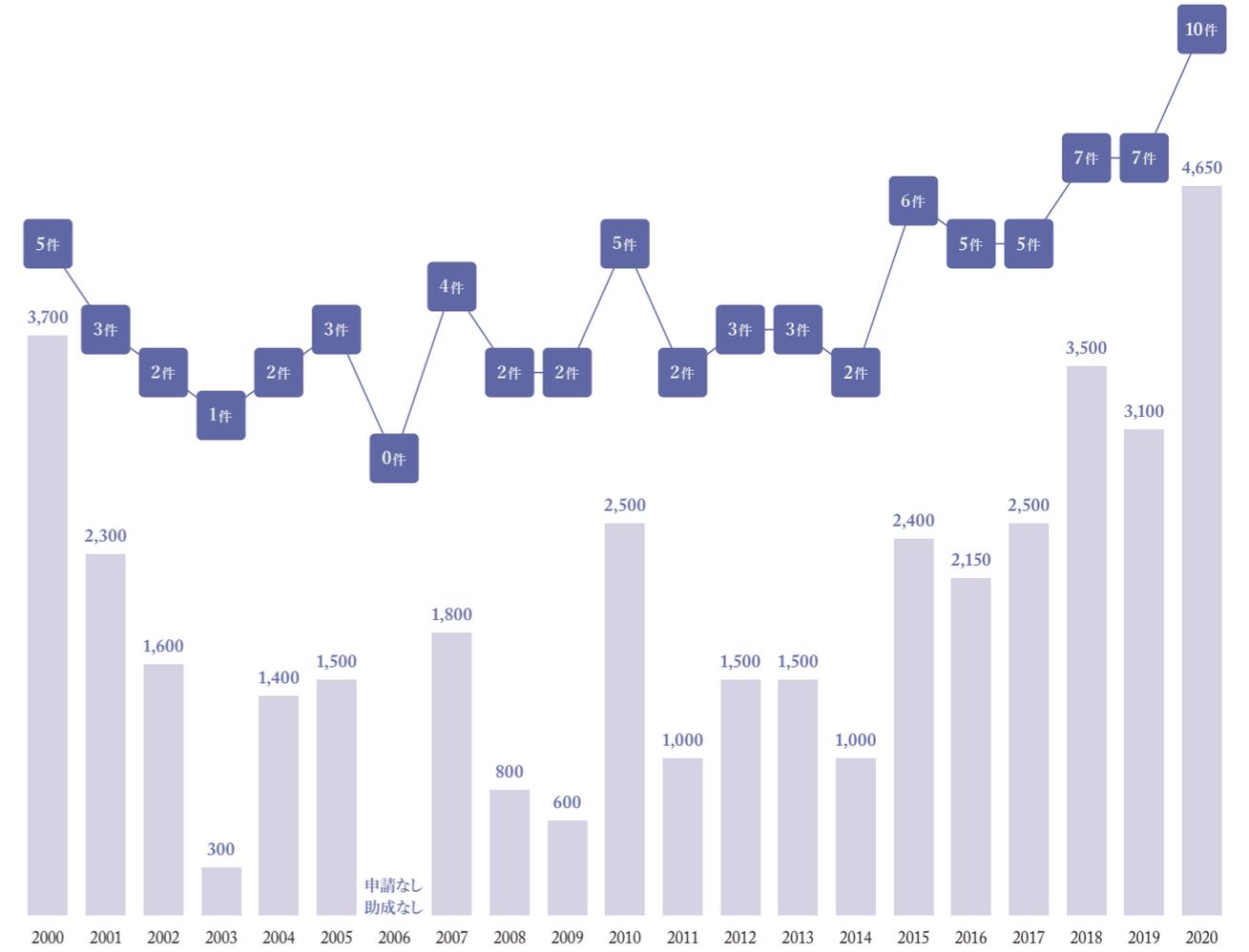
学会名	開催日	開催場所	交付額(千円)
発達性てんかん性脳症の病態生理に関する国際シンポジウム	2020年 6月19日～21日	オンライン	500
第57回日本小児外科学会学術集会	2020年 9月19日～21日	都市センターホテル・ オンライン	500
第40回日本川崎病学会・学術集会	2020年 10月30日～31日	オンライン	500
第29回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会	2021年 1月31日～2月1日	オンライン	500
第4回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会	2021年 2月6日～7日	オンライン	500
第18回日韓中小児腎セミナー2021	2021年 4月25日	オンライン	500
日本小児麻酔学会第26回大会	2021年 10月16日～17日	江陽グランドホテル・ オンライン	500
第24回日本・韓国・台湾婦人科病理合同会議 (日本婦人科病理学会共催)	2022年予定	ウェスタ川越	150
第32回JCIC学会学術集会	2022年 1月20日～22日	倉敷市芸文館	500
難治性てんかん国際シンポジウム	2022年3月予定	未定	500
合計			4,650

※開催日順

第57回日本小児外科学会学術集会の様子



これまでの実績



(単位千円)

※1992年から開始

6 小児医療施設支援

助成先一覧

2020年度は11件の応募があり、選考委員による審査の結果、10件の小児医療施設に対して総額約1,383千円の助成金を交付しました。

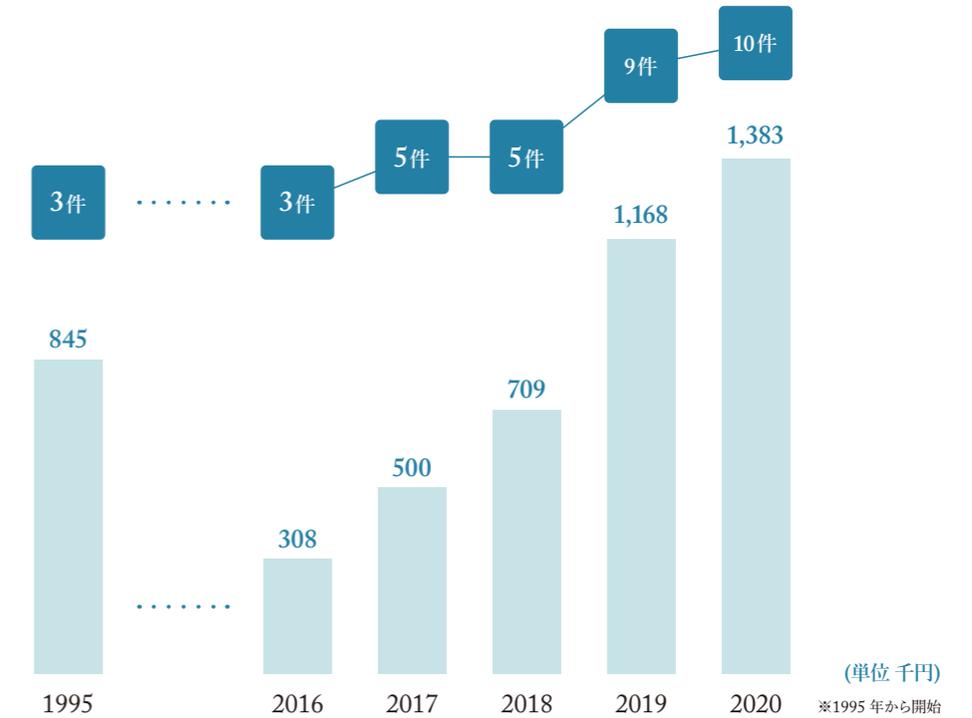
施設名	用途	交付額(円)
医療型障害児入所施設 カリヨンの杜	遊具・クッション・プリンター・デジタルカメラ・CDプレーヤー	149,930
社会福祉法人埼玉医大福祉会 カルガモの家	プロジェクター・ブルーレイプレーヤー・周辺機器	150,000
埼玉医科大学総合医療センター	タブレット端末	145,860
埼玉医科大学病院	防音カーテン・ベンチ・マット・スツール・CDプレーヤー・収納用ワゴン	139,819
さいたま市立病院	スクリーン・プロジェクター・ブルーレイプレーヤー・DVDセット	150,000
埼玉県立小児医療センター	動く絵本・プロジェクター	138,593
さいたま赤十字病院	スツール・クッション・テーブル・チェア	110,390
社会福祉法人埼玉医療福祉会 光の家療育センター	楽器・テレビ・ブルーレイプレーヤー・デジタルカメラ・プロジェクター・家庭用プラネタリウム等投影机	149,182
防衛医科大学校病院	プレイマット・スツール	135,900
医療法人若杉会 南平野クリニック	プレイマット	113,810
	合計	1,383,484

※五十音順

社会福祉法人埼玉医療福祉会 光の家療育センターの様子



これまでの実績



助成金の用途



7 ドクターによる養護教諭のための出前セミナー

実施一覧

2020年度は17件のお申込みがあり、選考委員による審査の結果、12件の研修会に対して講師を派遣することを決定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により4件の実施となりました。講師および参加者の健康・安全面を考慮し、いずれもオンラインでの開催となりました。

実施日	テーマ	講師	受講者数	実施形式	対象
2020年 8月7日	学校と心肺蘇生	埼玉医科大学総合医療センター 救急科 医師 浅野 祥孝先生 救急救命士 安齋 勝人先生	約30名	オンライン	上尾市養護教諭部会
2020年 11月25日	発達障害を抱えた子どもへの対応 ～正しく理解することの 大切さから～	白百合女子大学 副学長 人間総合学部発達心理学科 教授 医学博士・小児科医 宮本 信也先生	約20名	オンライン	蕨市保健主事養護 教諭合同講演会
2021年 2月10日	小児期、学童期頭部外傷の 病態と対応法、 さらに小児期の頭痛について	山王病院 脳神経外科部長 高橋 浩一先生	約30名	オンライン	新座市立小・中学校 養護教諭研究協議会 全体研修会
2021年 3月12日	思春期の自殺の予防について	北海道大学大学病院 児童思春期精神医学研究部門 特任教授 齊藤 卓弥先生	約80名	オンライン	東部高等学校保健会 保健主事・養護教諭 合同研修

※開催日順

※講師の所属機関および役職は実施日時点のもの

上尾市養護教諭部会様の声

救命の現場で働かれている先生方のお話が聞けて大変勉強になりました。心肺停止の件数や発生時間・場所、心原性・非心原性等、数値で見ることによりわかりやすく、発達段階により原因も様々だということ、また、性差とAEDの使用・CPR施行についての違いも知ることができました。

感染症対策を講じた上での応急手当の仕方や、心肺蘇生のポイント、実際の事例などが特に心に残りました。Zoomで離れた研修ではありましたが、心がつながるような研修でした。

当日の様子



1 研究助成

交付者一覧

2021年度は一般枠 54 名・若手枠 48 名の応募があり、選考委員による 3 月 29 日付け書面決議の結果、一般枠 22 名・若手枠 24 名の計 46 名の研究者に過去最高額となる総額 72,420 千円の助成金を交付することが決まりました。

[一般枠 22 名]

氏名	所属機関／「テーマ」	交付額(千円)
佐々木 哲也	国立大学法人筑波大学医学医療系生命医科学域解剖学・神経科学研究室 「免疫系分子が大脳皮質形成に及ぼす影響とその変調による自閉症スペクトラム症発現機構の解明」	3,000
鈴木 滋	旭川医科大学小児科 「NBAS 遺伝子異常症の病態解明:肝不全、低身長ならびに糖尿糖尿病発症・進展のメカニズム解明を目的して」	3,000
山内 壮作	関西医科大学医学部小児科学講座 「乳児期有熱性尿路感染症の再発リスク因子としての腸内細菌叢の dysbiosis」	2,600
松尾 宗明	佐賀大学医学部小児科 「もやもや病の病態解明」	3,000
本多 昌平	北海道大学北海道大学病院消化器外科 「球状肝細胞からゲノム・エピゲノム編集によって肝芽腫モデル細胞を作成する」	3,000
藤原 なほ	順天堂大学医学部小児外科講座 「ES 細胞由来腸管神経前駆細胞を用いたヒルシュブルング病の革新的治療の開発」	3,000
森 雅樹	国立循環器病研究センター血管生理学部 「小児の細胞がもつ細胞若年性を活用した若年性誘導治療の確立」	2,000
安藤 清宏	埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所 「治療抵抗性神経芽腫の長期病勢コントロールを目指した免疫チェックポイント阻害剤併用分子標的薬の探索と新規治療開発」	2,300
松井 健	島根大学医学部神経・筋内生理学 「ヒト脳オルガノイド技術による先天性奇形症候群の発症機構の解明」	3,000
深野 玲司	山口大学医学部附属病院小児科 「ALK 陽性未分化大細胞リンパ腫が ALK 阻害剤に対して耐性を示すメカニズムの解明」	3,000
磯島 豪	帝京大学医学部小児科学講座 「骨細胞における SOCS3(suppressor of cytokine signaling 3) 抑制シグナルを中心とした皮質骨と骨髄細胞の相互関係の解明」	2,400
堀 美香	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学環境医学研究所内分泌代謝分野 「家族性高コレステロール血症ホモ接合体における新規原因遺伝子の解明とモデル開発」	2,400

氏名	所属機関／「テーマ」	交付額(千円)
水落 建輝	久留米大学医学部小児科学講座 「小児期発症自己免疫性肝疾患の新規バイオマーカーと病因遺伝子の探索」	2,400
磯田 健志	東京医科歯科大学小児科 「ロングリードシーケンサーを用いた先天性免疫不全症・白血病発症機構の解明」	2,400
森戸 大介	昭和大学医学部生化学講座 「もやもや病の分子病態解明と新たな治療戦略の構築」	2,400
内匠 透	神戸大学大学院医学研究科 「自閉症脳オルガノイド解析による病態解明」	2,400
池田 真理子	藤田医科大学臨床遺伝科 「福山型筋ジストロフィーに対する次世代ゲノム編集法を駆使したスプライシングスイッチ療法の確立」	1,500
澤井 俊宏	国立大学法人滋賀医科大学小児科学講座 「小児 C3 腎症の病勢を反映する新たな指標は、治療最適化・治療侵襲の低減に寄与するか」	885
山川 裕之	慶應義塾大学医学部予防医療センター 「日本独自の新規遺伝子編集技術を用いた、ファブリー病心筋症による心不全治療法の樹立」	1,500
杉本 篤言	新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座 「脳磁図(MEG)を用いた自閉スペクトラム症(ASD)固有の視線認知発達性の検討」	1,485
伊藤 雅之	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部 「レット症候群のエピゲノム編集技術による遺伝子治療の基盤研究」	1,500
福光 延吉	兵庫県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター放射線治療科 「ダイナミックマルチリーフコリメータを応用した小児脳腫瘍線患者に対する陽子線治療法の開発と評価」	1,500
小計		50,670

※敬称略・所属機関は交付内定時の機関

[若手枠 24 名]

氏名	所属機関／「テーマ」	交付額(千円)
玉井 望雅	山梨大学大学院総合研究部小児科学講座 「ヒト iPS 細胞を用いた急性巨核球性白血病(Acute megakaryoblastic leukemia; AMKL) モデルの樹立」	1,000
堀之内 智子	神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども総合療育学部 「遺伝子座特異的 ChIP 法を用いた小児腎疾患の発症機序解明」	1,000
山室 和彦	奈良県立医科大学精神医学講座 「発達脳と恐怖記憶の神経基盤の解明」	1,000
木下 英幸	千葉県がんセンター整形外科 「骨肉腫の腫瘍進展におけるレドックス制御の分子機序解明および新規治療法の探索」	1,000
古山 貴文	金沢医科大学医学部基礎医学生理学 1 「注意欠陥多動性障害における前頭前皮質の神経動態解明:行動・ドーパミン・神経活動の同時計測」	1,000
中村 弘樹	関西医科大学医学部外科系講座小児外科 「ヒルシュブルング病における、パネート細胞を介した新たな腸管免疫応答の解明」	980
今川 和生	筑波大学医学医療系小児科 「小児期発症潰瘍性大腸炎の病変進展における免疫学的特徴の解析」	1,000
星野 雄介	茨城県立こども病院新生児科 「超早産児における横隔膜機能の温存を目指した人工呼吸器の管理指針の構築」	810
武田 昌寛	順天堂大学小児外科 「ヒルシュブルング病有神経節腸管における神経系及び免疫系細胞の相互発生制御機構の検証」	1,000
坪田 庄真	名古屋大学大学院医学系研究科分子生物学 「時期・細胞特異的な神経芽腫の発生機構解明」	1,000
名和 智裕	北海道立子ども総合医療・療育センター循環器病センター 「小児重症患者に対する小児集中治療室 Pediatric Intensive Care Unit での多職種による早期離床・リハビリテーションの取り組み～小児における早期リハビリテーションのプロトコルと体系的システムの構築～」	1,000
永倉 顕一	国立病院機構相模原病院小児科 「アナフィラキシー既往があり少量の食物経口負荷試験で客観的症候を誘発される重症牛乳アレルギー児に対する LGG 乳酸菌を併用する経口免疫療法の有効性とメカニズムの解析」	1,000

氏名	所属機関／「テーマ」	交付額(千円)
関口 昌央	東京大学医学部附属病院小児科 「間葉系幹細胞の胚葉起源に基づくクローニング肉腫の新規分類法の確立とその治療応用」	1,000
藤木 俊寛	金沢大学附属病院小児科 「マウスモデルを用いた慢性移植片対宿主病の病態解明と新規制御法探索」	1,000
末松 正也	京都府立医科大学小児科学教室 「乳児白血病を標的とした新規キメラ抗原受容体 T 細胞療法の開発」	800
原 聡史	佐賀大学医学部分子生命科学講座分子遺伝学・エビジェネティクス分野 「Beckwith-Wiedemann 症候群の表現型を惹起する DNA メチル化異常機構の解明」	800
野澤 明史	東北大学東北大学病院遺伝科 「リンパ管腫症の網羅的遺伝子解析と診断・治療への応用」	800
大西 卓磨	国立病院機構埼玉病院臨床研究部 「排尿済みおむつを利用した白血球尿検出キットの有用性に関する研究」	800
植田 亮子	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所神経薬理研究部 「自閉症スペクトラム障害における血液由来因子を介した病態制御機構に関する研究」	800
松島 峻介	兵庫県立こども病院心臓血管外科 「右側相対心共通房室弁の位相差 X 線 CT 装置を用いた微細三次元構造解析」	760
板橋 貴史	昭和大学発達障害医療研究所 「生体代謝物質・神経回路・行動の一元化モデルを用いた自閉スペクトラム症児の症状形成の検討」	800
鳥羽 修平	三重大学医学部附属病院心臓血管外科 「学校心臓検診心電図を自動判読する人工知能の開発」	800
佐々木 満ちる	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科 「知的障害を伴う脳性麻痺児の QOL 評価観点開発のための質的研究」	800
有馬 充	九州大学病院 ARO 次世代医療センター非臨床連携推進部門 「未熟児網膜症重症化ハイリスク早産児に対する早期介入治療薬の創製を目指した Reverse Translational Research」	800
小計		21,750

※敬称略・所属機関は交付内定時の機関

2 医学会助成

助成先一覧

2021年度は一次募集、二次募集を行い、合わせて19件の応募がありました。選考委員による審査の結果、10件の医学会に対して総額5,000千円の助成金を交付することが決定しました。

学会名	開催予定日	開催場所	交付額(千円)
第12回日本子ども虐待医学会学術集会	2021年 7月3日～4日	京都テルサ	500
第45回日本小児皮膚科学会学術大会	2021年 7月3日～4日	ウェスティンホテル東京	500
第39回日本小児心身医学会学術集会	2021年 9月23日～25日	WEB開催	500
第53回日本小児感染症学会総会・学術集会	2021年 10月9日～10日	京王プラザホテル	500
第28回小児集中治療ワークショップ	2021年 10月23日～24日	埼玉会館	500
第13回国際川崎病シンポジウム	2021年 10月29日～31日	TKP 東京駅セントラル カンファレンスセンター (Web 配信会場)	500
第46回東日本小児科学会	2021年 11月23日～12月14日	WEB開催	500
第37回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会	2021年 11月27日～28日	ナレッジキャピタル コングレコンベンション センター	500
日本子ども虐待防止学会 第27回学術集会かながわ大会	2021年 12月4日～5日	パシフィコ横浜ノース	500
第47回日本小児眼科学会総会	2022年 3月19日～20日	日本教育会館	500
		合計	5,000

※開催予定日順

3 ドクターによる出前セミナー

実施予定一覧

2021年度は一次募集、二次募集を行い、養護教諭から11件、就学前教育・保育施設の看護職から2件、合わせて13件の申込をいただきました。選考委員による審査の結果、お申込理由・ご希望テーマ・参加予定人数などから、12件の研修会に対して講師を派遣することを決定しました。

テーマ(一次募集採択分)	内容	件数
保健室での救急処置	・子どもによくある怪我や病気の重症度、緊急度の判断基準 ・養護教諭として行うべき応急処置	3
小児期、学童期における頭部外傷や脳脊髄液減少症	・小児期や学童期における頭部外傷や脳脊髄液減少症の症状と対応方法	2
子どもの心臓突然死	・学校現場で児童生徒が心肺停止した際の対応方法 ・突然死の予防法	1
発達障害を抱えた子どもへの対応	・発達障害の症状や特徴 ・発達障害を持つ子どもへの支援方法	1
	合計	7

※二次募集採択分についてはテーマを調整のため一次募集採択分のみ記載

4 2021年度支援対象の拡大について

コロナ禍における経済活動の自粛や生活環境の変化により、今まで以上に支援を必要としている家庭や子どもたちが増えているのは確かです。そこで、2021年度より「奨学金給付」および「ドクターによる出前セミナー」の二つの事業において、支援の対象を拡大することを決めました。

奨学金給付の対象に「千葉県」を追加

コロナ禍による影響で、退学を余儀なくされたり、進学を諦めたりする学生が増えています。当財団の奨学金給付は、これまで埼玉県内の高校を卒業し、小児医学を志す医学生を対象としていましたが、2021年度より千葉県内の高校を卒業した医学生も対象に加えしました。この拡大が経済的に苦しんでいる一人でも多くの医学生に希望を与え、将来、小児医学界の発展につながることを願っています。

2020年度まで

埼玉県内の高校を卒業し、日本国内の総合大学医学部、または医科大学で小児医学を志す大学生、および小児医学研究に従事している大学院生

2021年度から

埼玉県または千葉県の県内の高校を卒業し、日本国内の総合大学医学部、または医科大学で小児医学を志す大学生、および小児医学研究に従事している大学院生

埼玉県内の
高校を卒業

埼玉県内の
高校を卒業

+

千葉県内の
高校を卒業

ドクターによる出前セミナーの対象に

「就学前教育・保育施設の看護職」を追加

コロナ禍において、子どもの健やかな成長、そして命を守るためには、家庭のみならず、学校現場や幼稚園、保育園などにおいても、心身の不調に対する適切な対応や高度な知識がますます求められるようになってきています。そこで、2021年度よりドクターによる出前セミナーの対象に、発育発達の支援および健康管理の重要な役割を担っている就学前教育・保育施設の看護職も加えました。

2020年度まで

養護教諭

2021年度から

養護教諭

+

就学前教育・保育施設
(保育所・幼保連携型認定
こども園・幼稚園等)の看護職

5 2021年度中の募集について

募集概要

2021年度は以下の事業において応募を受け付けます。詳細は当財団ウェブサイトをご覧ください。



2021年度小児医学川野賞

対象分野	小児医学、ことに基礎医学・臨床医学・社会医学に関する研究
応募資格	次の要件をいずれも満たすものとする (1) 2022年3月31日時点で55歳以下であること (2) 所属する学会もしくは組織の責任者から推薦を受けていること
顕彰	賞状、トロフィーおよび賞金100万円
募集期間	2021年8～10月末頃予定



2021年度小児医療施設支援

応募資格	原則として埼玉県にある医療施設
助成内容	15万円以内/件
募集期間	2021年8～10月末頃予定



2022年度奨学金給付

応募資格	次の要件をいずれも満たすものとする (1) 身体が健康であり、気質および素行ならびに学業が良好である者 (2) 埼玉県または千葉県の県内の高校を卒業し、日本国内の総合大学医学部、または医科大学で小児医学を志す大学生、および小児医学研究に従事している大学院生 (3) 学長、副学長、または学部長の推薦を受けている者 (4) 当財団の定める給付者の義務を果たすことができる者
給付内容	月額6万円以内
募集期間	2022年2～4月末頃予定



2022年度研究助成

対象分野	小児疾患の原因究明・診断・治療・予防等に関する基礎医学的研究、臨床および社会医学的研究 ただし、日本国内の研究機関で行う研究に限る
応募資格	申請者が次の要件をいずれも満たすものとする (1) 日本国内の総合大学医学部、医科大学、医学研究機関、医療機関等で小児医学研究に従事していること (2) 所属する組織の責任者から推薦を受けていること (3) 2019年度以降に当財団から助成金を受けていないこと (4) 若手枠の場合は、2022年3月31日時点で40歳以下であること
助成内容	〈一般枠〉300万円以内/件 〈若手枠〉100万円以内/件
募集期間	2021年9～11月末頃予定



2022年度医学会助成

応募資格	次の要件をいずれも満たすものとする (1) 日本国内で開催する小児医学に関連する医学会であること (2) 開催日が2022年4月1日～2023年3月31日であること
助成内容	50万円以内/件
募集期間	2021年8～10月末頃予定



2022年度ドクターによる出前セミナー

セミナーテーマや申込資格、申込方法については当財団ウェブサイトをご覧ください!

応援メッセージ

当財団は、多くの方々のご協力やお力添えのおかげで、毎年の活動を続けることができております。今回は、ご寄附というかたちでご支援いただきました皆様より応援メッセージをいただきました。これからもご寄附に込められた想いを胸に刻み、しっかりと活動に反映してまいりたいと思います。



茨城県
40代女性

縁あって

私の次男は筋肉の難病です。
縁あってこの財団のことを知りました。私も次男も今の人生を諦めていません。研究が進みたくさんの事が分かり難病などで苦しむ子どもたちが明るい人生を送れる事を望みます。最後にこのような財団を立ち上げて下さったことに感謝致します。



神奈川県
60代女性

生きている事は当たり前事ではない

そんな当然な事に気づいたのは、我が子がNICUに入院した時でした。生きたくとも生きられない小さな命。若い私はショックを受けました。今でも世界中で闘っている小さな命と医師がいることでしょう。未来ある命を救う為に、財団にはますます頑張ってくださいたいです。
私は、あの日を忘れない為に感謝の心を持ち、少しでも世の中に返せるように、働いていきたいと思っています。



埼玉県
50代男性

子は国の宝

私の長男は、生まれてひと月後に吐血し、長期入院しました。次男も耳の病に気付いてあげられず、しばらく声が出ませんでした。申し上げるまでもなく、「子は国の宝」であり、これから、日本のみならず、世界を支えて生きていきます。その大切な子どもたちの未来と健康を支えて下さっている貴財団のご趣旨に大いに賛同しております。私の僅かな寄附が多くの子どもたちとその世界にお役に立てますよう、ますますのご発展をお祈り申し上げます。



埼玉県
食品スーパー労働組合

子どもたちの未来のために

川野小児医学奨学財団の皆様いつもありがとうございます。小児医学発展のため、子どもたちの未来のため、様々な調整から段取り、実現へと不断の努力に対し、この場を借りまして敬意を表します。
さて、当社の従業員の多くは女性であり、多くの方は母親の顔を持ちながら一生懸命働いております。彼女たちには家庭があり、子育てという何よりも過酷で、難解な課題に挑み続けています。そして、その中でダイヤモンドよりも価値のある喜びを見出します。それは感謝という心かもしれません。
生まれてきてくれてありがとう。育ててくれてありがとう。不幸にして、子を失い感謝の心を見失ってしまう方も世の中には多くいらっしゃいます。子どもの未来を信じ、戦い続ける母親、父親のために、病で子をなくす不幸を少しでも減らすためにこれからも頑張ってください。

役員・評議員・選考委員一覧

[理事]

理事長
川野 幸夫
株式会社ヤオコー / 代表取締役会長

川野 光世
株式会社川野商事 / 代表取締役

吉野 芳夫
伊藤忠商事株式会社 / 理事

新井 一
順天堂大学 / 学長

桃井 真里子
自治医科大学 / 名誉教授

上池 昌伸
株式会社ヤオコー / 常務取締役

[監事]

杉田 圭三
株式会社 CWM 総合経営研究所 / 取締役会長

原 敏成
武州瓦斯株式会社 / 代表取締役社長

※敬称略・順不同

[評議員]

川野 清巳
株式会社ヤオコー / 相談役

川野 澄人
株式会社ヤオコー / 代表取締役社長

利根 忠博
株式会社埼玉りそな銀行 / 元会長・社長

村井 満
公益社団法人日本プロサッカーリーグ / チェアマン

高篠 包
高篠・柿沼法律事務所 / 弁護士

豊田 友康
株式会社メディアバルホールディングス / 監査役

※敬称略・順不同

[選考委員]

雨宮 伸
埼玉県社会福祉事業団嵐山郷 / 参与

岡 明
埼玉県立小児医療センター / 病院長

奥山 真紀子
社会福祉法人子どもの虐待防止センター / 理事

● 椛島 香代
文京学院大学人間学部 / 学部長

河野 陽一
独立行政法人労働者健康安全機構千葉ろうさい病院 / 名誉院長

坂本 穆彦
大森赤十字病院 / 顧問

城 宏輔
医療法人すずき小児科 / 院長

野々山 恵章
防衛医科大学小児科学講座 / 教授

林 泰秀
上武大学 / 副学長

桃井 真里子
自治医科大学 / 名誉教授

山縣 然太郎
山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 / 教授

● 山崎 章子
埼玉県立浦和高等学校 / 養護教諭
埼玉県養護教諭会 / 会長

山城 雄一郎
順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座 / 特任教授

※敬称略・五十音順

※●はドクターによる出前セミナー事業の選考委員

ご寄附のお願い

「病に苦しむ子どもたちを少しでも減らしたい」そんな想いにご賛同いただき、お力添えいただければ幸いです。

ご寄附は、小児医学研究者への研究費支援や、小児医学を志す医学生への奨学金給付などに使用させていただきます。

- 1 当財団ウェブサイトより寄附金申込書をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、メール添付(PDF)・ご郵送・Faxのいずれかにて以下までお送りください

メール添付(PDF)の方:info@kawanozaidan.or.jp

郵送の方:〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-10-1 公益財団法人 川野小児医学奨学財団 事務局宛

Faxの方:049-246-7006

- 2 銀行等よりご寄附をお振込みください

- 3 当財団にてご寄附のお振込を確認後、受領証明書・寄附控除のご案内をお送りいたします

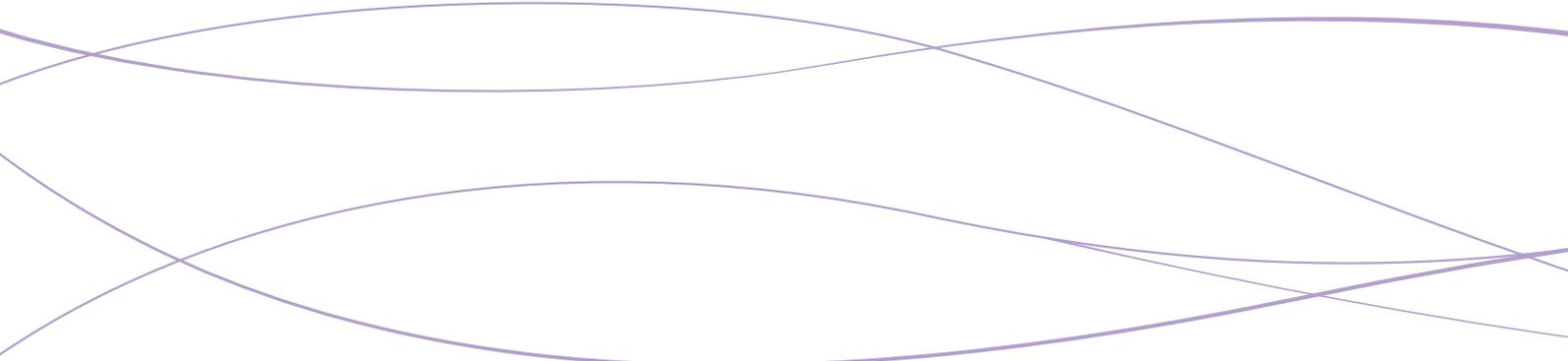
寄附金にかかる税制上の優遇措置

当財団にご寄附いただいた方は税金の控除等、優遇措置が受けられます

個人の場合:ご寄附をされた翌年の確定申告時に当財団発行の受領証明書を添付し、
所轄の税務署等にご申告ください

法人の場合:ご寄附をされた当該事業年度の税務申告の際に損金算入手続きを行ってください





公益財団法人

川野小児医学奨学財団

〒350-1124

埼玉県川越市新宿町 1-10-1

Tel: 049-247-1717

Fax: 049-246-7006

Mail: info@kawanozaidan.or.jp

Url: www.kawanozaidan.or.jp

Facebook: <https://fb.com/KawanoZaidan>